

- 道では今年度、圏域ごとに「重点課題」を設定し、関係者で認識共有を図りつつ、具体的な取り組みに向けた集中的な議論を促していく方針。

(重点課題の例)

- ・ 人口減少を見据えた急性期機能の集約化、病院の再編・統合
- ・ 人口構造・疾病構造の変化を見据えた回復期機能（急性期経過後の受け皿、軽症急性期対応を含めた在宅支援）の確保
- ・ 急性期病院と回復期・慢性期病院との連携強化
- ・ 在宅医療の提供体制の確保
- ・ 地域における役割分担・連携の推進に向けた定期的な意見交換の場の設定 等

- 札幌圏域は、多くの地域で、2025年以降も2040年に向けて高齢者人口が大幅に増加する点、公立・公的医療機関のほか多数の民間医療機関が医療を提供している点において、他の地域と大きく異なり、調整会議等行政が主導する場において、個々の医療機関の役割・機能等について議論を深めていくことは困難である。

- また、圏域内でも、例えば、札幌市以外の市町村では、患者の受療動向（入院自給率、流出率の高い地域など）が大きく異なる状況。

例）・ 入院自給率

	恵庭市	千歳市	江別市	石狩市	北広島市	当別町	新篠津村
国保等	71.9%	66.8%	56.2%	32.8%	32.0%	16.7%	17.3%
健保	33.3%	45.9%	40.4%	15.8%	7.2%	-	-

- ・ 流出先の高い地域（国保等(%)・健保(%)) :
- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 江別市 ⇒ 厚別区 (11.4%・11.1%) | 千歳市 ⇒ 恵庭市 (11.8%・7.9%) |
| 中央区 (9.1%・13.5%) | 中央区 (5.9%・12.0%) |
| 恵庭市 ⇒ 中央区 (7.6%・13.0%) | 北広島市 ⇒ 厚別区 (18.4%・26.1%) |
| 千歳市 (6.0%・14.1%) | 中央区 (11.4%・14.2%) |
| 石狩市 ⇒ 手稲区 (22.4%・26.3%) | 当別町 ⇒ 東区 (34.9%・32.6%) |
| 東区 (14.8%・14.5%) | 中央区 (15.2%・23.4%) |
| 新篠津村 ⇒ 江別市 (35.5%・27.7%) | |
| 南空知圏域 (35.4%・30.1%) | |

- 札幌圏域では、2040年に向けて、各医療機関における中長期的な視野に立った検討・取組に資するよう、まずは、受療動向等を踏まえつつ、各地域で顔の見える連携体制（互いの現状・課題を継続的に共有する場）を構築することを「重点課題」として取組を進める考え。

札幌圏域における重点課題について

<親会>

<部会等>

<実態を踏まえた意見交換の場>

